一般社団法人環境健康学研究会 会員規程

第1条（目的）

この会員規定（以下「本規定」という。）は、一般社団法人環境健康学研究会（以下「当研究会」という。）定款の規定に基づき、当研究会の会員（以下「会員」という。）に関し、必要事項を定め、また会員の心得・規定を明確にし、会員の地位の安定並びに当研究会の安定的な運営の確保を目的とする。

第2条（本規定の適用）

本規程は、当研究会の全ての会員に適用し、当研究会は本規程の下、運営管理を行う。また、当研究会が随時発表する諸規程も、本規程の一部を構成する。

第3条（会員の種別）

当研究会の会員は、次の各号いずれかに該当する個人または団体とする。

- （1）正会員（個人） 当研究会の目的、事業に賛同して入会した個人
- （2）正会員（団体） 当研究会の目的、事業に賛同して入会した法人及び団体
- （3）賛助会員 当研究会の目的、事業に賛同し賛助を目的に入会した個人、法人及び団体

第4条（入会申込及び基準）

1. 会員になろうとする個人、法人又は団体は、当研究会が定める入会申込手続きを行い、当研究会が定める入会金、年会費（以下「会費等」という。）を支払う。
2. 当研究会は、所定の入会基準に基づき、入会の可否を決定し、これを通知する。

第5条（会員資格の有効期限）

1. 会員等資格有効期限（以下「有効期限」という。）の起算日は、当研究会が入会を承認し、初回の会費等の払込があった日とし、その期限は、起算日より1年間とする。
2. 会員は前1項の有効期限満了毎に更新するか否かを事務局に通知するものとし、更新する場合は期限満了日までに当研究会所定の年会費等を支払う。

第6条（入会金及び年会費）

1. 会員は、次に掲げる会費等を当研究会の指定する方法により支払う。

会員種類	入会金（1口）	年会費（1口）
正会員（個人）	5,000円	5,000円
正会員（団体及び法人）	50,000円	50,000円
賛助会員（個人）	なし	20,000円
賛助会員（団体及び法人）	200,000円	100,000円

2. 会員特典に関しては、別途当研究会が定めるとともに、当研究会のホームページへの掲載その他の方法により通知する。

第7条（除名）

1. 会員が下記各号の事由に該当するときは、理事会の決議により除名することができる。
 - (1) 違法行為又は著しく道義に悖る行為をするなど、会員として相応しくないと認められるとき
 - (2) 本規程又は法令に違反し、もしくは違反するおそれのある行為をおこなったとき
 - (3) 正当な理がなく会費を3年分以上滞納したとき
2. 会員の除名が審議される理事会において、当該会員には弁明の機会を与えなければならない。

第8条（退会）

1. 会員はいつでも退会通知を当研究会に提出することにより、退会することができる。
2. 前項の場合、既納の入会金、会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

第9条（個人情報の取扱い）

当研究会は、会員の個人情報を次の各号の目的で利用する。

- (1) 各種手続き、会員からの問い合わせ、連絡、要望その他の対応のため
- (2) 当研究会のサービス、関連サービス又はそれらに関する場合
- (3) その他会員から同意を得た目的の範囲内における利用のため

第10条（守秘義務）

1. 当研究会の会員になったことで入手した情報に関し、守秘義務を事前に通達された情報に関しては、その義務を厳守しなければならない。なお、当該守秘義務は当研究会を退会後も継続する。
2. 会員が前1項に定める行為に違反したことが認められた場合は、除名の必要性を理事会において検討する。

第11条（事前承諾）

1. 会員は、当研究会に関する活動内容を対外的にいずれかの媒体や情報として発信する場合は、当該内容について事前に事務局に連絡し、事務局の承認を得なければならない。
2. 会員は、当研究会の活動成果を利用し営利目的の活動を行う場合には、当該内容について事前に事務局に連絡し、事務局の承認を得なければならない。
3. 会員が前2項に定める行為について事前承諾を得ずに行っていることが認められた場合は、除名の必要性を理事会において検討する。

第12条（規程の改定）

本規程は、当研究会の円滑な運営実施のため、必要と認める場合、当研究会の理事会の決議により改定することができる。その場合、当研究会のホームページへの掲載その他の方法により通知した時点よりその効力を生じる。

附則

この規程は、一般社団法人環境健康学研究会の設立登記の日から適用する。